

現状

☑ 世界自然遺産登録後の奄美大島5市町村では、遺産価値の保全の取り組みを最優先にしつつ、自然と人との共生の中で育まれた環境文化を後世へ継承する自然共生社会の構築を目指している。

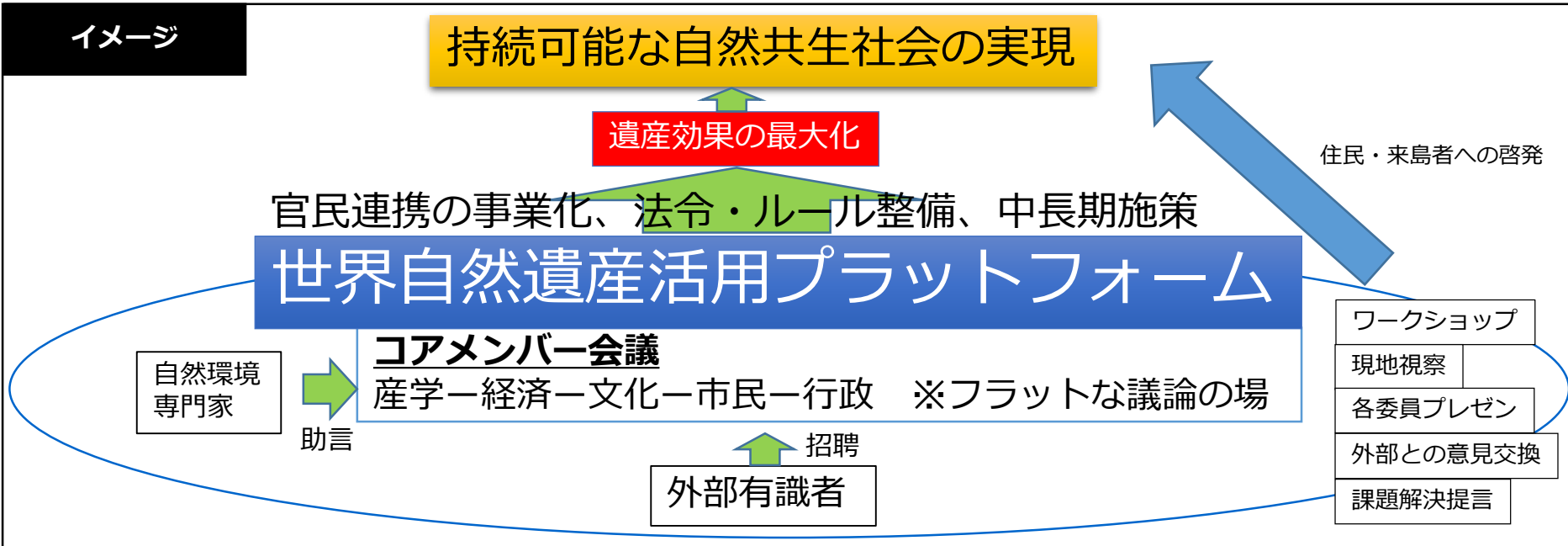
☑ 一方、令和2年度からの新型コロナの影響からの経済の回復が重要な課題となっており、遺産価値を保全しさらに高め、かつ、持続可能に活用し、経済効果を波及させることが期待されている。

趣旨

☑ 世界自然遺産の関連施策は総合的に5市町村で引き続き取り組んでいくが、経済の中心的役割を持つ本市では、他市町村への波及を意図した取り組みをより積極的に講じていく必要がある。

☑ 上記現状を踏まえ、**地域への遺産効果の最大化**を目的として、公民連携の場（プラットフォーム）を立ち上げ、多様な主体による議論を行い、市民参加型の機動的な政策実現を目指す。

イメージ



活動内容

○世界自然遺産活用プラットフォーム
 多様な主体の情報交換や主体的な連携・協働を促進する協議・交流の場。得られた成果は各人の活動や市民参加型の政策として参考にする。
 参加者14名程度とし、会議は年6回程度開催（うち1回は成果発表を開催） 事務局世界自然遺産課。